

令和6年度学校評価自己評価表

| 評価計画 | | | | | |
|---------|------------------------------|--|--|--|---------------|
| | 中期経営目標 | 短期経営目標 | 目標達成のための方策 | 評価指標 | 目標値 |
| 学びに向かう力 | 主体的で深い学びのできる児童を育成する。 | ①自分で考え判断する力を育成する。 ②基礎基本の定着を図る。 | ①学び方を児童が自己決定できる場を設定する。 ②タブレットの活用等、個に応じた指導法の工夫を行う。 | ①研究推進に関する質問「自分で考えて学習に向き合い、問題を解決しようとしていますか」の肯定的割合 ②国語・算数・社会・理科の期末テストにおいて得点率80点以上の児童の割合 | ①80% ②75% |
| 豊かな心 | 自他のよさを認め、自分も人も大切にできる児童を育てる。 | ③互いを認め合い、つながり支え合おうとする態度を養う。 ④自己有用感の向上を図る。 | ③帰りの会と帰りの集いで友達のがんばりを認め合う場を設定する。 ④一人一人にみんなの役に立つ役割を意識させ、月末に自己評価カードを使ってがんばりを評価する。 | ③児童質問紙「自分のよさは周りから認められている」の肯定的回答の割合 ④児童質問紙「自分には学校生活（そうじ、係活動、給食当番、日直、委員会、学校行事等）でがんばった場面があった」の肯定的回答の割合 | ③85% ④80% |
| 健やかな体 | 心も体もたくましい児童を育成する。 | ⑤体力の向上を図る。 ⑥基本的な生活習慣を確立する。 | ⑤自分で目標を決め、業間運動に取り組む（マラソン、縄跳び） ⑥期間を限定し、生活リズムの実態把握をし、メディアコントロールデーを設定する。 | ⑤マラソントイム、達成できるなわとびカードの等級が前年度を上回る児童の割合 ⑥メディアコントロールデーにおいて自分の目標を達成する児童の割合 | ⑤80% ⑥80% |
| 信頼される学校 | 地域・保護者とつながり、信頼される学校づくりを推進する。 | ⑦情報発信と地域の人材活用を積極的に行う。 ⑧働き方改革を推進する。 | ⑦学校だより・学級通信の内容の充実を図り、定期的に発行する。HP、「すぐる」を活用した情報発信の工夫を行う。 ⑧業務改善を行い、職員のワーク・ライフ・バランスを推進する。 | ⑦保護者質問紙「学校だよりやHP・学級通信等で学校の様子をわかりやすく伝えている」の肯定的評価の割合 ⑧「自分の業務にやりがいをもっている」と感じる職員の割合 | ⑦95% ⑧100% |